

第 1 回荻島地区まちづくり会議の記録

会議名	第 1 回荻島地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年 8 月 2 日（金） 19 時～20 時 40 分
参加者数	14 人
事務局	<p>市長公室：徳沢政策担当部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)課長、戸張調整幹、杉野主幹</p> <p>都市計画課：森野室長、風間主幹</p> <p>市民活動支援課：岩田副課長</p> <p>荻島地区センター・公民館：金子所長</p> <p>ランドブレイン：石村氏、和田氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 地区まちづくり会議について（事務局より説明）</p> <p>(2) 会長・副会長の選出について</p> <p>(3) 第 4 次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について（事務局より説明）</p> <p>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について（事務局より説明）</p> <p>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について（事務局より説明）</p> <p>(6) 越谷市及び地区の現状について</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	<p>(2) 会長・副会長の選出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このまちづくり会議の目的は、荻島地区の将来像について私たち住民が日々感じている意見や課題を反映させるために話し合うことである。 ・荻島地区には競技場・給食センター・リサイクルプラザ等の大きな施設があるが、施設周辺の道路整備は十分なものではない。増林地区やレイクタウン地区の道路整備状況に比べると遅れは明らかである。 ・荻島小は校庭が分断され、学習時間が削られているために学力テストの結果にも悪影響が出ているのでは。さらに地区内には避難場所の機能も果たす公園がない。遊具もなく、子ども目線で見ても不平等と感じる。 ・3本走っている国道は台風の時期に水浸しになってしまい、その迂回路として大きな迷惑を被っていることが、荻島地区の最も懸念すべき事項である。また、長年の働きかけにより、工業団地の建設案ができたことでようやく防災道路、国道 463 号線の整備が進み始めたところである。 ・荻島地区は、病院やスーパーも存在せず様々な条件で生活が制限されてきたように感じる。農業地区としての荻島ではあるかもしれないが、最低限の暮らしは死守できるように荻島地区の心の温かさを誇りにみんなで力を合わせていきたい。また、メロンタウン・道の駅の建設案や免許センターの移転などにより、荻島地区のみならず越谷全体が潤う計画をこのまちづくり会議でみなさんとともに考えていきたい。

	<p>(3) 第4次越谷市総合振興計画の概要及び進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会連合会も懸念しているが、自治会加入率が減少してきていることが懸念である。南荻島地区は元荒川を挟んで分断されているため生活圏が大袋地区で完結しており、荻島地区への帰属意識が薄れてきているのか自治会加入率の低下が著しい。それに伴うゴミ出しなどのマナーが気になっている。 <p>(4) 越谷市都市計画マスタープランの概要及び進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> 市は市街化区域に指定した責任である道路を整備していない。このままでは防災性が担保されないまま住宅が立ち並び危険が生じてしまいかねない。 農家の高齢化問題への対応が急務ではないか。いちごタウンの取り組みなど、まちづくり会議としても応援していきたい。 <p>(5) 地区まちづくり会議提言書の進捗状況について</p> <p>質疑：13地区で比較して荻島地区の65%という実施率はどう評価すればよいか。</p> <p>回答：65%は平均適である。実施率100%を目指しているが、特に目標4で掲げられた内容については実施困難なものも多く、このような数字に結びついている状況である。</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋敷林の保全等は個人レベルの問題に委ねるしかないので仕方がない面もある。一方で、路線バス事業については買い物難民の問題も含むため、市として支援を厚くしなければならないのでは。 もしも農村バージョンで婚活事業成功の兆しがあるならば、農家の嫁になりたいという若者は少ないだろうが農産物直売所を整備するなどして婚活事業の応援を検討してゆく可能性もある。婚活事業の支援がひいては農業の後継者問題解決の後押しにもつながる。 最も実施率が低く止まっている目標4についても、「荻島らしさ」という言葉に固執するわけではなく、環境と利便性をどう両立してゆくか総合的に検討したい。 目標5の「元荒川の遊歩道整備」について、観光スポットのように整備できればと検討している状況である。全体を含めて4,000万円程度の事業費で計画されているが、荻島地区の着工が工期の最期になってしまうため、本当に費用の創出ができるのか埼玉県と調整中である。河川流量や自転車・自動車交通量の兼ね合いからも、安心安全な場所を整備することは必要なので、早急に進めたい。 <p>(6) 越谷市及び地区の現状について</p> <p>質疑なし</p> <p>(7) その他</p> <p>質疑なし</p>
意見交換	特になし

第2回荻島地区まちづくり会議の記録

会議名	第2回荻島地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年9月3日(火) 19時~21時
参加者数	15人
事務局	政策課：戸張調整幹、杉野主幹 都市計画課：森野室長、風間主幹 市民活動支援課：岩田副課長 荻島地区センター・公民館：金子所長 ランドブレイン：稲葉氏、和田氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク ・ 地区の強み・弱みの抽出とキーワード分類 ・ 目指すべき方向・目標(テーマ)の整理、発表 4 その他 5 閉会
質疑応答	質疑なし

■ワークショップ「地区の強み・弱みの抽出とキーワード分類」

＜A グループの意見＞

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
全般	<ul style="list-style-type: none"> ・道路、水路等都市基盤が整備されていない ・市民として平等な施設が欲しい 	
高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率高く子ども少ない ・農業が特徴であるが高齢化で先が見えない ・農地等の管理が難しい 	
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用の規制が多い ・調整区域であり用途地域変更が必要 ・調整区域がほとんど ・土地が売れない ・農地ばかりでなく白地地区を多くする 	<ul style="list-style-type: none"> ・田園地帯である
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体のなかでバランスある公共施設（子供や高齢者のものがない） ・公共施設が少ない ・陸上競技場を有効につかえない（広すぎる） 	
安全安心	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯が少ない ・避難場所がない 	
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地区には公園がない ・子どもの遊べる公園がない ・公園等子どもが遊ぶ場所がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場がある ・第2グラウンドの県木
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・大型公共施設が先に整備され道路が整備されていない ・道路整備を早く行う ・市道が整備されていない ・道路の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・国道が2本あり県道が3本ある
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・病院がない ・公共道路網や本数が少ない ・小中学校の教育環境が悪い 	

将来のまちづくりについて（キーワード）

- 稼ぐ（工業、農業＝道の駅のような農家の活躍の場づくり、農地の集約）
- 生活環境整備（上記キーワードに加え、商業、医療）

《B グループの意見》

地区の強みと弱みについて

キーワード	問題点（弱み）	良いところ（強み）
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減 ・病院,薬局がない(無医村) 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな性格がいい ・体育祭や夏祭りなどイベントで団結
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・荻島小の飛び地のグラウンドを何とかして ・小学校のグラウンド内の学童の空室は何か利用法はないのか？ ・元の公民館は何？もっと活用すべき 	<ul style="list-style-type: none"> ・文教大学
施設の再編活用	<ul style="list-style-type: none"> ・施設（ハコ）があってもほかの地区が使うもの ・地域に有効な使われ方がされていない 	
調整区域	<ul style="list-style-type: none"> ・調整区域の見直し ・農村部のため基盤整備 ・荻島地区は道路づくりから？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅が避難所になる(広い、周りが農地) ・工業団地に期待 ・越谷市の米生産地(かつては)
公園,運動場	<ul style="list-style-type: none"> ・荻島公園三か所くらい作ってほしい ・高齢者のためグランドゴルフやハンドゴルフ場、多目的グランド作ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・県の施設（健康福祉村,公園） ・しらこぼと陸上競技場
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・駅から遠い ・小学校遠い(子供の足で1時間) ・バスの本数少ない ・バス路線少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・4号バイパス。463バイパスがある

第3回荻島地区まちづくり会議の記録

会議名	第3回荻島地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年9月26日(木) 19時00分~21時05分
参加者数	15人
事務局	政策課：戸張調整幹、杉野主幹 都市計画課：森野室長 荻島地区センター・公民館：金子所長 ランドブレイン：稲葉氏、和田氏
議事	1 開会 2 あいさつ 3 グループワーク ・ グループごとに各テーマについて取組の提案、目標の見直し等 ・ グループ発表 4 その他 5 閉会
質疑応答	なし

■ワークショップ「自分たちでできる取組」と「支援してほしいこと」の抽出

テーマ①：コミュニティ活動（公共施設、環境、安全・安心）

＜Bグループの意見＞

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
コミュニティ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none">・今やっている行事（特に子供向け）に参加者を増やす・大学生を各自治会に呼ぶ・サロン活動を広げる	<ul style="list-style-type: none">・人口を増やすために調整区域の見直し
防災・防犯対策の充実		<ul style="list-style-type: none">・災害時の情報発信を早く出して欲しい・防災無線を聞き取りやすく！！・小学校への通学路を整備してほしい（街灯、見通し）

テーマ②：稼ぐ（農業、萩島らしさ）

＜Aグループの意見＞

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
土地利用		<ul style="list-style-type: none"> ・農業地域と農業経営を支える関係者の居住の場として、白地地区を設ける。（加工する場、そこで働く人が住めるように） ・農地の土地利用の規制を変更し、利便性を上げる活用を図る（保全ではなく）
農地集約・大型化による価値向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化、価値のある作物づくり ・一般に開放（休耕地）→収穫祭、イベント ・売るだけじゃなくて貸借も含めて“死産”を活用 ・大型化（ロスをなくす） ・青空市場、PR、朝市 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業の効率化を図るために行政が地主をまとめ、拡大した農地に整備する ・行政が土地所有者等の意見を取り込み土地利用の活性化を図る（農地の集約と活用等利便性を高める）
基盤整備		<ul style="list-style-type: none"> ・用水路の整備を行う（底面の舗装）
施設整備		<ul style="list-style-type: none"> ・農産物の加工販売等の施設を設置する

テーマ③：魅力づくり（自然・文化）

＜Bグループの意見＞

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
田園環境の 保全	<ul style="list-style-type: none">・生け垣などで景観づくり（屋敷林から生け垣へ）	<ul style="list-style-type: none">・生け垣保全のための支援（薬剤などの補助）
文化・伝統 の啓発	<ul style="list-style-type: none">・田植え、稲刈り体験を続ける・縄ないや伝承遊びを子どもたちに伝える活動を続ける・地区の祭りを大切にする	
公園・広場 の充実・活 用	<ul style="list-style-type: none">・ラジオ体操などみんなで集まり活動する	<ul style="list-style-type: none">・みんなで集まりやすい公園の整備

テーマ④：生活環境（利便性・交通）

＜Aグループの意見＞

キーワード	自分たちでできる取組	支援してほしいこと
公園		<ul style="list-style-type: none"> 公園整備をしてほしい（最低地区内3ヶ所、避難場所にもなる）
商業施設		<ul style="list-style-type: none"> 大型スーパーの誘致（災害時食料の確保にもなる）
病院		<ul style="list-style-type: none"> 病院が欲しい 病院のない地域の解消を図る、病院の設置
バス		<ul style="list-style-type: none"> 荻島地区にバス（ミニバス）←行政支援で バスの運行本数を時間当たり4本（15分毎とする） 福祉的視点で考えるべき
道路		<ul style="list-style-type: none"> 道路等の生活環境の整備を早急に行う（防災上の安全確保） 都市計画道路と河川の橋の連結の早期実施
街灯		<ul style="list-style-type: none"> 通学路への街灯設置
荻島小校庭		<ul style="list-style-type: none"> 荻島小学校の校庭の2分化を早期に対応する（移転か広くする） 荻島小学校の校庭分離による移動ロスタイムは（他校と比べて）年間5、6日分存在する。授業できない子供の学習環境の至急の処置（学校の全面移転、どこからもバランスの良い位置に）小中一貫も←その場合、校舎は有効活用
子ども施設		<ul style="list-style-type: none"> 子供が楽しめる施設

第4回荻島地区まちづくり会議の記録

会議名	第4回荻島地区まちづくり会議の記録
開催日時	令和元年10月28日(月) 19時～20時30分
参加者数	16人
事務局	<p>市長公室：徳沢政策担当部長</p> <p>政策課：山元副部長(兼)政策課長、戸張調整幹、杉野主幹</p> <p>都市計画課：森野室長</p> <p>市民活動支援課：吉武主事</p> <p>荻島地区センター・公民館：金子所長</p> <p>ランドブレイン：和田氏、稲葉氏</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 提言書(案)について(説明、質疑、意見交換)</p> <p>(2) 将来像の見直しについて</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
質疑応答	<p>(1) 提言書(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の「荻島らしさを活かし、…」という目標を今回「目標4地域の利便性を高めるまちづくり」としてまとめたとのことだが、前回の実施率が低い目標であったためまとめたということか。 ⇒前回の目標4と目標5を今回合体させたのは、前回の内容では「地区内で連携」するなどの表現が曖昧だったため、「利便性を高める」ことを念頭により具体的に整理させていただいた。 ・前回の目標4には「市街化調整区域についての検討」という文言は「地域にあった土地利用の検討」の中に含まれるということかと思うが、「地域にあった」という表現では現状ベースとなるため、「地域の要望にあった」などとしたい。 ・目標4の土地利用については、農地に限らず、利便性を高めるための方策や農地から別の利用を検討できうる方策などに文言の表現を改めたい。この件については会長・副会長に一任いただきたい。 ⇒異議なし ・「市への期待」とある項目は、具体的に何課がどう行うかまでは記載しないのか。 ⇒提言書にはそこまで掲載しないが、提言書としてまとまった後、各担当課で具体的に取組み、今後報告させていただく。 ・提言書については市議会議員にも渡すのか。 ・⇒提言書としてまとまったものは市のホームページに掲載しどなたでも閲覧できるようにする。それとは別に、市議会議員へも全地区分を情報提供させていただく。

(2) 将来像の見直しについて

- ・「緑豊かな」という表現は削除してもよいと思う。
- ・「安全と安心が実感できる」という表現はどうか。
- ・「利便性が高く」は残したい。なくすと達成されたと思われる。
- ・「荻島」という表現を入れてはどうか。
- ・⇒（結論）将来像は「利便性が高く 安心して暮らせるまち荻島」とする

以上